

事業シート(1)

1 事業番号	- 3	事業名	地域拠点での健康づくり事業
--------	-----	-----	---------------

位置づけ	2 所管	健康福祉	局	健康	部	健康増進	課
	3 審査会での対象分野	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します			4	根拠法令	健康増進法
	5 関連する事業	所属名	事業名				

事業概要	6 事業年度	開始 平成20年度 ~ 終了 年度 (終期を定めていない場合は開始年度のみ)					
	7 事業の背景(実施の経緯)	健康さかい21の中間評価において、働き盛りの年代の生活習慣に課題がみられた。そのため、働き盛りの市民を対象に、生活習慣を改善することをポイントとして事業を検討した。					
	8 事業の目的(何のために)	市が市民自らの健康づくりのきっかけとなるような情報を提供し、地域において自主的な健康づくり活動が進むことを目的として実施する。具体的には、働き盛りの年代を中心としたより多くの市民に働きかけること、市民が体験し、学ぶことで健康づくりに取り組む意識を持ってもらうことである。					
	9 対象者(誰・何を対象に)	働き盛りの年代を中心とした市民			10 対象地域	<input checked="" type="checkbox"/> 全市事業(全市的に実施) <input type="checkbox"/> ()区で実施	
	11 事業の実施方法 複数選択可能	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託		<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金		<input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他()	

直接実施以外の場合の支出先 民間業者

12	事業内容(手段・手法など)	<p>【事業概要】 市民が普段立ち寄り寄る場所に実施場所を設定することで、働き盛りの年代を中心とした市民に、健康チェックや健康相談、健康教育等を受ける機会を提供し、市民自らの健康づくりにつなげる。</p> <p>【実施場所】 ショッピングセンター・事業所・区役所など</p> <p>【実施内容】 健康チェック・健康相談：血圧計や体組成計を使用しての保健師や看護師による保健指導 栄養チェック・栄養相談：料理模型を使用しての管理栄養士による栄養指導 運動チェック・運動相談：握力・敏捷性・柔軟性を測定しての健康運動指導士による運動指導 健康講座：テーマにあわせての保健師・看護師・管理栄養士・健康運動指導士による健康講座 その他：ポスター掲示を行う(保健センター事業や自主グループの紹介など) パンフレット、歯間ブラシ等を配付する</p> <p>【実施方法】 事業実施は、プロポーザルにより、業者選定を行い委託する。</p>				
----	---------------	---	--	--	--	--

コスト		事業費(千円)	主な内訳(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)		
	13	20年度(決算)	26,802 業務委託料:24,849	6,290	33,092		
		21年度(決算見込)	26,082 業務委託料:25,972	6,290	32,372		
		22年度(予算)	15,460 業務委託料:15,300	3,145	18,605		
14	22年度予算	人件費内訳		事業費内訳(千円)			
		従事職員数(人)	人件費(千円)	国・府支出金	市債	一般財源	その他(基金)
	正規職員	0.37	3,145	0	0	0	15,460
	非正規職員	0	0				

15	自由記述欄(1~15を補足する特記事項等)	平成22年度は、参加者のその後の行動変容を把握することに重点をおいているため、規模を縮小して実施予定。
----	-----------------------	---

事業シート(2)

事業番号	- 3	事業名	地域拠点での健康づくり事業
------	-----	-----	---------------

16	活動指標 (実績)	指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠	
		参加人数	人	目標	11,057	10,929	4,655	生産年齢人口(15歳～64歳)の2%
				実績	8,358	10,112		
	達成率	75.6%	92.5%					
	実施回数	回	目標	70	70	30	堺市全域・さまざまな実施場所での実施	
			実績	73	70			
達成率			104.3%	100.0%				

17	効率指標	(単位あたりコスト(総事業費/活動指標))	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	/
		総事業費 / 参加人数	千円	3.96	3.20	4.00	
		総事業費 / 実施回数	千円	453	462	620	

18	成果指標	指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠	
				目標				
				実績				
	達成率							
			指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠
					目標			
実績								
達成率								

【その他】 数値以外の成果があればご記入ください。
本事業に参加した市民が、その後生活習慣を見直したり、継続して健康づくりに取り組んでいるかどうかの把握ができていないため(今年度、アンケート実施予定)。

19	活動評価	(A) (80%以上) (B) (50%～80%) (C) (50%以下)	総合評価	A・(B)・C	コメント
	効率性	(A) (向上) (B) (現状維持) (C) (低下)			
	成果評価 (効果性)	A (80%以上) B (50%～80%) C (50%以下)			

より多くの市民に働きかける、という目的については、活動指標(実績)から、達成できていると考えられる。市民の健康づくりに取り組む意識において、きっかけづくりの役割は、果たしていると考えられるが、課題として、市民の健康づくりにつなげていくという目的についての達成度を評価するために、その後の参加者の状況を把握する必要がある。

20	比較参考値 (政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)	【政令指定都市の状況】本事業の方向性を検討するための他市の状況を記入ください。			
		運動習慣を持つ(1日30分以上の運動を週2回以上している)人の割合			
		堺市	男性 36.8% 女性 30.4%(全体 33.2%)		
		札幌市	男性 26.6% 女性 28.2%	浜松市	全体(45～64歳) 34.1%(週1回以上)
		仙台市	男性 33.6% 女性 33.3%	名古屋市	男性 19.0% 女性 15.2%
		さいたま市	男性 26.6% 女性 19.2%	京都市	男性 36.8% 女性 34.3%
		千葉市	全体 62.9%(週1回以上)	大阪市	男性 38.4% 女性 28.8%
		横浜市	男性 40.0% 女性 31.5%	神戸市	全体(40代) 31.6% 全体(50代) 36.7%
		川崎市	男性 54.0% 女性 50.0%(意識的に)	岡山市	男性 28.0% 女性 24.0%
		相模原市	男性 29.8% 女性 24.9%	広島市	男性 23.5% 女性 20.9%
		新潟市	男性 21.6% 女性 17.2%	北九州市	全体 43.3%(日頃から健康のため)
		静岡市	男性 43.3% 女性 47.2%(週1回以上)	福岡市	男性 42.6% 女性 39.3%(運動習慣を持つ)
		【国等の基準との比較】			
		男性 30.9% 女性 25.8%			
【必要に応じて近隣市の状況をご記入ください】					
大阪府 全体 30.6%					

事業シート(3)

事業番号	- 3	事業名	地域拠点での健康づくり事業
------	-----	-----	---------------

21	事業の必要性 A	A	有	(理由) 平成20年度からの事業実施において、実施場所の提供者の協力により、多くの市民に働きかけるという目的が達成できている。今後は、本事業のアンケート結果で、多くの市民が、生活習慣において何らかの見直しが必要と感じていることから、実施場所の提供者と協力して市民の健康を考えていくことで、それぞれの特性をいかしつつ、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを継続できる環境を整えていく必要がある。
		B	無	

22	実施主体の妥当性 A 事業主体の妥当性 d	A	市が実施	(理由:「市が実施」とした場合は、同種事業における民間等の状況も明記)
		B	民営化	健康づくりに関しては民間企業での取り組みも見られるが、対象が限定される場合が多い。不特定多数の市民等を対象とし、事業実施後、実施場所の提供者等の独自の取り組みにつなげるきっかけとするためには、市が実施主体になることが望ましいと考えられる。
		C	その他()	
		実施主体がAの場合	a	市で直接実施
			b	全部民間委託
			c	一部民間委託
			d	市民協働
			e	その他()
				(理由) 市民自らが健康づくりを始めるきっかけになるよう、これまでに、多くの市民に健康に関する情報提供を行うという役割を果たしてきた。健康づくりを行うのは、市民一人ひとりであるが、個人の努力だけでは難しい面もあることから、今後の市が果たすべき役割を考えるとともに、実施場所の提供者の協力を生かしつつ、市民協働で、事業を実施していく必要がある。

事業の評価 (実施事業の方法、内容等について、事業の目的合致性、効果性、効率性、社会変化への適応性等から現状の課題及び評価を記入下さい)				
<p>誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現するために、身近な場所で健康づくりに関する情報を得られたり、健康づくりを継続できる環境を整える必要がある。そういった点では、市民が普段立ち寄る場所を実施場所に設定したことで、多くの市民に働きかけるという目的を達成し、本事業を通じて実施場所の提供者の協力を得て、共に市民の健康を考えていくきっかけとなったと考えられるが、取り組みが継続されているかどうかは十分把握できていない。そのため、内容が市民ニーズに沿っているか、有効なものとなっているかなどの検証が課題である。</p> <p>今後、健康づくりを継続するためには、市の役割を把握し、市民のニーズに合わせて取り組んでいく必要があり、その際、これまでの事業実施で深めてきた実施場所の提供者との協力関係が果たす役割は大きいと考えられる。</p> <p>また、事業を通じて、実施場所の提供者が参加者の健康意識の高まりを実感し、独自の取り組みを実施することにつながれば、堺市の社会的資源の増加という効果も見込まれる。</p>				
23	C	A	拡充	(理由:「改善」とした場合は改善内容も記入下さい)
		B	現状どおり	平成20年度においては、多くの市民に働きかける、という目的について達成できた。平成21年度はより多くの市民に働きかけることができるように事業を行ってきた。これまでの実績を踏まえ、平成22年度においては、市民の生活習慣の具体的な見直しにつながっているかどうかを把握するためのアンケートを実施し、市民ニーズに沿った内容に改善していきたいと考えている。
		C	改善	
		D	縮小	
		E	廃止・終了	
		F	その他()	

24	縮小または影廃止した場合	(影響の内容)		
		<input type="checkbox"/> 市民の生命や財産に影響する <input type="checkbox"/> 市民の日常生活(衣食住)に影響する <input checked="" type="checkbox"/> 市民の生命や財産、日常生活には影響しないが、他に影響する <input type="checkbox"/> 市民には直接影響しない <input type="checkbox"/> その他()		
		(影響の出方)		
		<input type="checkbox"/> 影響がすぐさま出る <input type="checkbox"/> 影響が出る <input checked="" type="checkbox"/> 影響がすぐには出ない <input type="checkbox"/> その他()		

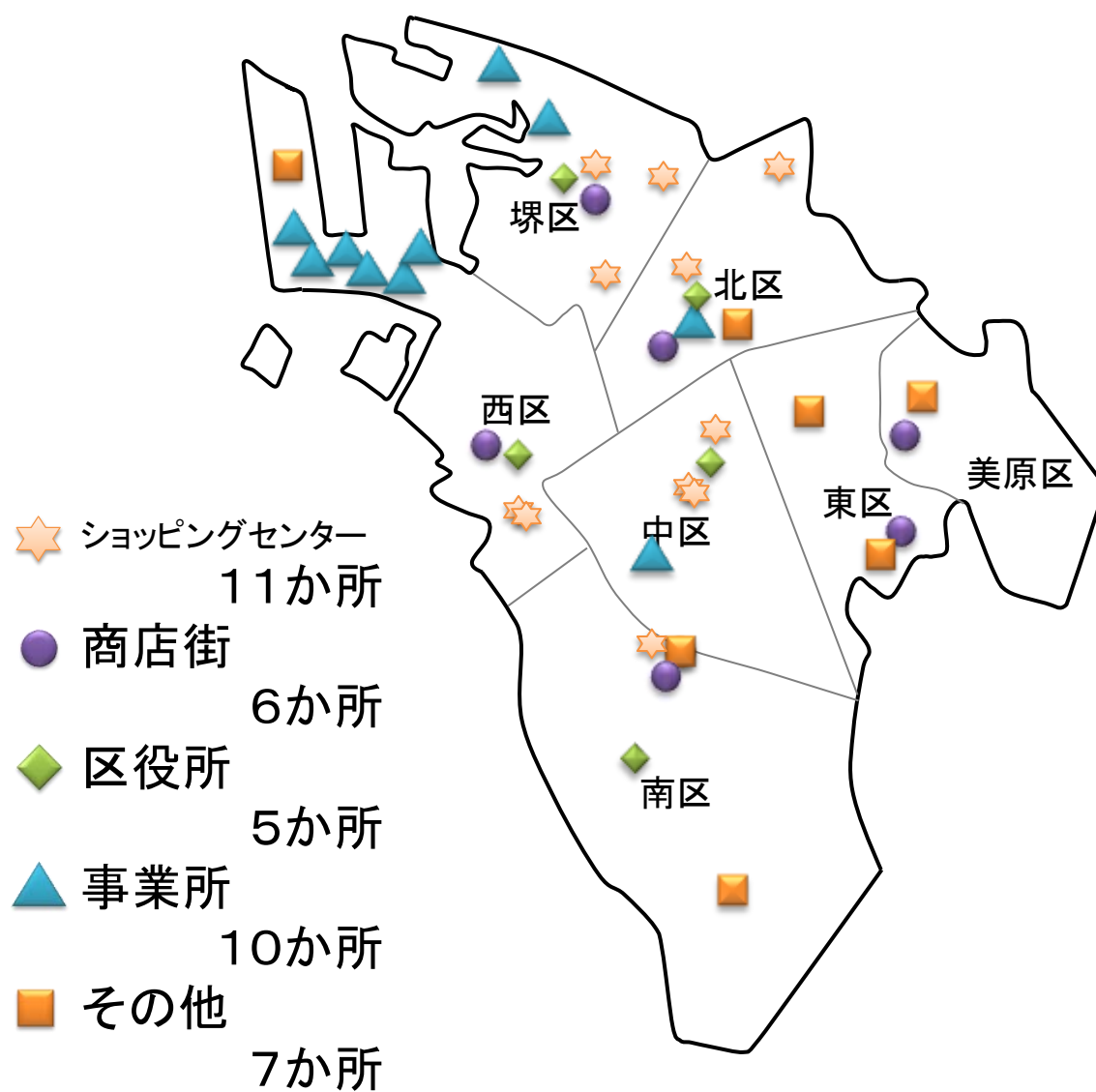
(特記事項等)

25	
----	--

平成 2 1 年度実施風景

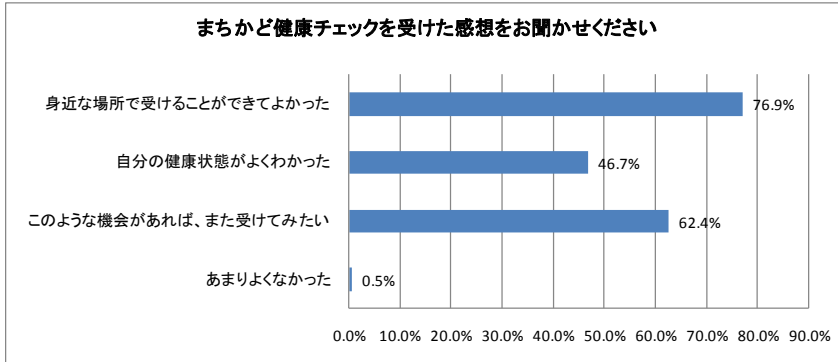


平成21年度実施状況

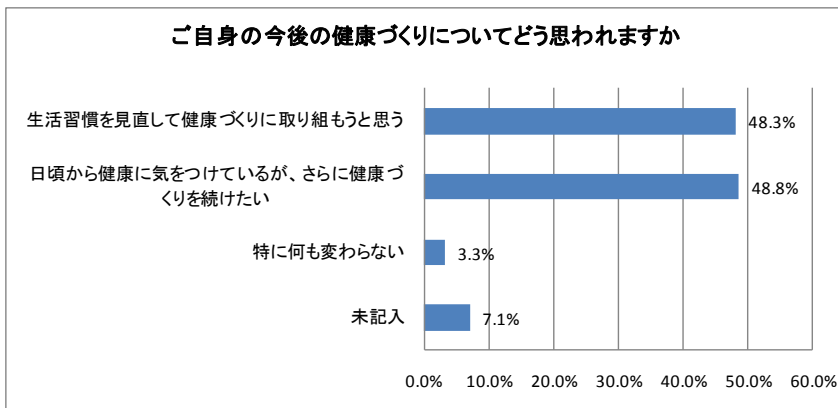


実施場所数	39箇所
実施回数	70回
参加人数	10,112人

アンケート結果（平成20年度）

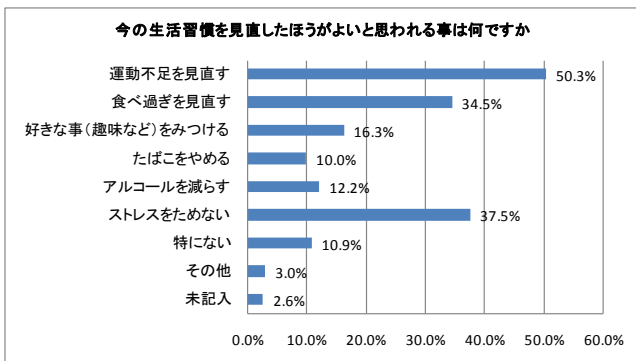


複数回答あり

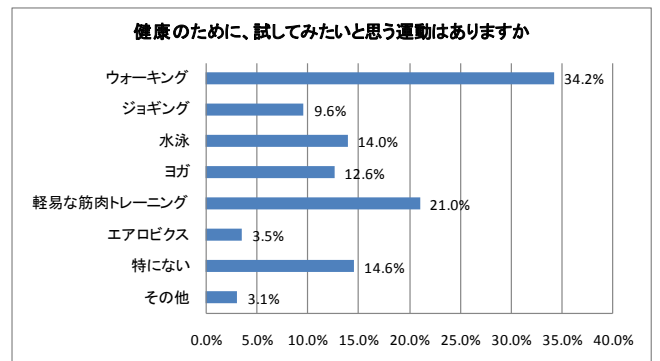


複数回答あり

アンケート結果（平成21年度）



複数回答あり



複数回答あり

